

バンカートスクール  
2015年9月-10月期募集案内



# BankARTschool

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。バンカートスクールは日曜を除くほぼ毎日、休み無く開講しています。

この10年もの間で講座258、述べ816人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ4000人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

バンカートスクール校長 村田 真

月 mon. 19:30-21:30

## 横浜建築家列伝 vol.2

## 五十嵐太郎+磯 達雄

①9/7 ②9/14 ③9/28 ④10/5  
⑤10/12 ⑥10/19 ⑦10/26 ⑧11/2

この講座は、先進的な都市空間であり続ける横浜が、どんな建築家によって

築かれてきたのか、その歴史と将来を考えるインタビュー・シリーズの第2弾です。

9/7 磯 達雄(前回シリーズのまとめと今回以降の展望)

9/14 服部範二(江國正義について)

9/28 林 要次(中村順平について)

10/5 柳澤 潤(横浜での自作、活動について)

10/12 五十嵐太郎(阪/横国大出身の建築家について)

10/19 栗原正明(横浜での自作、活動について)

10/26 小泉雅生(横浜での自作、活動について)

11/2 北山 恒(横浜国立大学の建築教育の系譜)

いがらしたろう | 建築史、建築批評家。1967年パリ生まれ。東北大学教授。主な著書に『被災地を歩きながら考えたこと』(みすず書房)『現代建築に関する16章』(講談社)などがある。

いそたつお | 建築ジャーナリスト。1963年埼玉県生まれ。1988~99年『日経アーキテクチャ』編集部。2000年~ブリックススタジオ共同主宰。共著書に『昭和モダン建築巡礼』(日経BP社)、『日本遺産巡礼』(同)などがある。

木 thu. 19:30-21:30

## 手のひらサイズワークショップ vol.3

## 田中信太郎

①9/10 ②9/17 ③9/24 ④10/1  
⑤10/8 ⑥10/15 ⑦10/22 ⑧10/29

2014年、BankART Studio NYKで開催した「かたちの発語展」において、老練さと若さを併せ持つ作品群を展開した氏によるワークショップ形式の講座の第3弾。前回に引き続き、美術の極小を手のひらサイズに集約するという作品制作を行う。毎回異なる作業を行い、制作を通じて身体の記憶を呼び起こしていく。

たなかしんたろう | 1940年東京生まれ。1959年より読売アンデパンダン展に出品。60年「ネオダダイズムオルガナイザーズ」に参加。69年パリ・ビエンナーレ、71年サンパウロ・ビエンナーレ、72年ベニス・ビエンナーレ、01年インド・トリエンナーレ等、国際的に活躍。03年には大阪国立国際美術館で回顧展を開催。今年も開催される「越後妻有 大地の芸術祭」の『赤とんぼ』の作品はよく知られている。

火 tue. 19:30-21:30

## 都市とアートの水先案内人 vol.2

聞き手 | 池田修、村田真、溝端俊夫、細淵太麻紀

①9/8 ②9/15 ③9/22 ④9/29  
⑤10/6 ⑥10/13 ⑦10/20 ⑧10/27

『くじけぬ人間はいない、不安のない友達はいない、砕けぬ夢、破れぬ夢などない(略) 僕らはメイフラワー号に乗り、月へとぶ船に乗り(略) 自由の女神が沖にでるのを』とアメリカのポールサイモンはうたった。さて私たちはどこに行くのか? 誰も気づかない場所に点を打ち続ける、都市(地球)とアート(魂)の水先案内人に御登壇願う。

前回に引き続き第2弾!

9/8 美術手帖(三上 豊)

9/15 セゾン文化財団(片山正夫)

9/22 白州/planB(木幡和枝)

9/29 R不動産(馬場正尊)

10/6 くまもとアートポリス(西村親明/熊本県建築課)

10/13 資生堂(樋口昌樹)

10/20 びあ(村田 真)

10/27 舞踏(山海塾、大野一雄/溝端俊夫、土方巽/森下 隆)

金 fri. 19:30-21:30

## 〈叛アメリカ〉の知的戦士たち

## 今福龍太

①9/4 ②9/11 ③9/25 ④10/2  
⑤10/9 ⑥10/23 ⑦10/30 ⑧11/6

詩も思想もアートも、究極的には「たったひとりの叛乱」である。だがその孤独な叛乱の、時と場所を超えての群島的な見えざる連帯こそが、世界を一元化しようとする権

力をたえず揺るがすもつともラディカルな批判の拠点となってきた。アメリカ憲法を退けるヘンリー・ソロ。ニクソンに戦いを挑むパブロ・ネルーダ。米軍基地の欺瞞を暴く東松照明。ディズニーに反逆するオーソン・ウェルズ。軍事帝国主義に抗うマーク・トウェイン。これらジェロニモたちの系譜、すなわち(アメリカ)なるイデオロギーへの叛乱の思想と実践を150年に渡ってたどるこの講座は、とりもなおさず、アメリカ国家への隷属的な一心同体を決め込む現在の(日本)国家にたいしても、本質的な異議申し立てを提起するものとなるだろう。

【講座テキスト】

今福龍太『ジェロニモたちの方舟』岩波書店(2015)

【サブテキスト】

今福龍太『わたしたちは難破者である』河出書房新社(2015)

いまふくりゅうた | 文化人類学者、批評家。現在、東京外国語大学大学院教授として新世代知性論、群島論、メディア論、書物論等を講義。サンパウロ・カトリック大学コミュニケーション・記号学大学院客員教授。キャンパスの外に遊動的な学びの場の創造を求め、2002年より奄美群島において巡礼型の野外学舎「奄美自由大学」を主宰。主要著書に『クレオール主義』『ミニマ・グラフィア』『群島・世界論』『レヴィ=ストロース 夜と音楽』『薄墨色の文法』『書物変身譚』など。

水 wed. 19:30-21:30

## 写真ポートフォリオを作る!

## 飯沢耕太郎

①9/9 ②9/16 ③9/23 ④10/7  
⑤10/14 ⑥10/21 ⑦10/28 ⑧11/11

写真作品をプレゼンテーションする時に、ポートフォリオ(作品ファイル)を作ることが必要になります。ところが、それをどんな風に形にしていけるかという、基本的な事項が理解されていないことが多いようです。本ゼミ

では、自由作品、課題作品のポートフォリオを、講評を積み重ねつつ、実際に作っていきます。また最終回には、東京・恵比寿の「写真集食堂めぐたま」で特別授業をおこないます。自分の作品を、多くの人に効果的に見せるためにはどうすればいいのか、そんな悩みをお持ちの方の参加を期待しています。

いいざわこうたろう | 写真評論家。1954年、宮城県生まれ。1977年、日本大学芸術学部写真学科卒業。1984年、筑波大学大学院芸術学研究科博士課程修了。主な著書に『写真美術館へようこそ』(講談社現代新書1996)、『デジグラフィ』(中央公論新社2004)、『写真的思考』(河出ブックス2009)、『女の子写真』の時代』(N T T出版、2010年)、『深読み! 日本写真の超名作100』(パイインターナショナル、2012)、『現代日本写真アーカイブ震災以後の写真表現2011-2013』(青弓社、2015)などがある。

## BankARTschool

## BankART スクールの概要

週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。

時間= 19:30~21:30

会場= BankART Studio NYKにて

## スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankART ショップでの買い物物が5%割引、BankART パブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

## お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金確認でき次第、手続き完了となります。一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。

また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

## お申し込み・お問い合わせ

BankART スクール事務局

school@bankart1929.com

TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

BankART Studio NYK

〒231-0002 横浜市中区海岸通 3-9